

平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 株式会社ナカニシ 上場取引所 大
 コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)中西 英一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)駒田 裕一 (TEL)0289(64)3380
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	11,272	1.9	3,708	△8.8	3,880	4.2	2,678	7.2
22年12月期第2四半期	11,062	15.6	4,064	49.4	3,723	11.0	2,498	14.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	442 48	442 36
22年12月期第2四半期	406 98	406 97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	37,321	33,795	90.2	5,598 69
22年12月期	34,951	31,677	90.4	5,213 95

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 33,673百万円 22年12月期 31,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0 00	—	80 00	80 00
23年12月期	—	0 00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	100 00	100 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,485	1.2	6,970	△8.3	7,107	△2.7	4,778	1.9
								780 44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期2Q	6,283,960株	22年12月期	6,283,960株
23年12月期2Q	269,479株	22年12月期	224,579株
23年12月期2Q	6,053,954株	22年12月期2Q	6,138,746株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 02
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 02
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 02
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 03
2. その他の情報	P. 04
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 04
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 04
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 04
3. 四半期連結財務諸表	P. 05
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 05
(2) 四半期連結損益計算書	P. 07
【第2四半期連結累計期間】	P. 07
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 08
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 09
(5) セグメント情報	P. 09
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済環境は、企業収益の改善や海外市場の回復により景気を持ち直しが見られたものの、欧州を中心とする金融不安、為替レートでの円の高止まり、東日本大震災後の電力の供給不安及び放射能問題等により景気の見通しが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、売上の輸出割合が高く、昨今の長引く円の高止まりは、グローバル競争においてマイナスの影響を与えつつあります。特に、成長牽引役であった欧州市場においては、財政問題による景気悪化懸念により販売が減速いたしました。一方で、国内におきましては、新製品効果もあり好調に推移いたしました。

このような環境のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,272,877千円（前年同期比1.9%増）、営業利益は、3,708,117千円（前年同期比8.8%減）、経常利益は、3,880,112千円（前年同期比4.2%増）、四半期純利益は、2,678,735千円（前年同期比7.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（歯科製品関連事業）

売上数量は増加いたしました。慢性的な円高により円換算額は目減りしております。加えて成長牽引役であった欧州市場におきましては、販売の減速が見られました。

この結果、売上高は、9,629,722千円、セグメント利益は、4,432,637千円となりました。

（工業製品関連事業）

国内外の設備投資の回復により、当社グループにおきましては、携帯情報関連機器の部品加工用として機械装着用スピンドルの売上が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は、1,299,247千円、セグメント利益は、411,451千円となりました。

（その他事業）

修理等サービスも堅調に推移いたしました。慢性的な円高により円換算額は目減りしております。売上高は、343,906千円、セグメント利益は、106,895千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,484,490千円増加し、26,600,016千円となりました。これは主として、現金及び預金が1,350,393千円、金銭の信託が2,499,293千円増加した一方、有価証券が658,074千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,114,033千円減少し、10,721,556千円となりました。これは主として、有形固定資産及び無形固定資産の償却に加えて、投資有価証券が518,780千円、長期定期預金が500,000千円、保険積立金が409,649千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ292,441千円増加し、3,128,999千円となりました。これは主として、買掛金が115,344千円、未払法人税等が445,327千円増加する一方、その他の流動負債が269,162千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39,656千円減少し、397,542千円となりました。これは主として、退職給付引当金が35,610千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2,117,671千円増加し、33,795,031千円となりました。これは主として、四半期純利益の計上等により利益剰余金が2,193,984千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ471,544千円増加し、8,104,347千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2,753,372千円（前年同四半期は1,930,987千円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益4,316,409千円の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額1,212,502千円により資金を使用したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,629,438千円（前年同四半期は54,575千円の獲得）となりました。これは主として、定期預金の払戻等により資金を獲得する一方、金銭の信託の取得及び有形固定資産の取得等に資金を使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、855,824千円（前年同四半期は516,814千円の使用）となりました。これは主として、自己株式の取得366,710千円及び配当金の支払484,182千円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、「東日本大震災」に起因する電力使用の抑制や未だ見えない原発問題による景気の下振れ懸念、円高の高止まり等、不確定要素の多い事業環境が予想されますが、輸出割合が高い企業特性を活かしグローバル企業としての営業力強化を進める一方、ベトナム新工場の稼動を軸に原価低減を進め、一層の経営体質強化に努めてまいります。なお、現時点では平成23年2月14日に公表いたしました平成23年12月期の業績予想に変更はありませんが、業績の影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,284,427	11,934,033
受取手形及び売掛金	3,300,691	3,179,444
有価証券	932,683	1,590,757
金銭の信託	2,499,293	—
商品及び製品	2,241,155	1,892,930
仕掛品	1,710,312	2,078,968
原材料及び貯蔵品	1,667,365	1,588,519
繰延税金資産	512,581	467,426
その他	475,318	399,679
貸倒引当金	△23,812	△16,233
流動資産合計	26,600,016	23,115,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,975,433	3,900,935
機械装置及び運搬具	2,067,332	1,902,706
工具、器具及び備品	1,981,465	1,871,202
土地	1,039,178	1,014,050
建設仮勘定	646,984	453,247
減価償却累計額	△5,190,370	△4,934,477
有形固定資産合計	4,520,024	4,207,666
無形固定資産		
ソフトウェア	375,312	402,086
ソフトウェア仮勘定	28,992	21,504
のれん	78,172	96,795
その他	10,308	15,155
無形固定資産合計	492,785	535,542
投資その他の資産		
投資有価証券	2,987,984	3,506,764
関係会社株式	390,225	381,509
長期定期預金	500,000	1,000,000
保険積立金	1,277,057	1,686,706
繰延税金資産	322,694	331,218
その他	232,878	188,277
貸倒引当金	△2,094	△2,094
投資その他の資産合計	5,708,745	7,092,381
固定資産合計	10,721,556	11,835,589
資産合計	37,321,573	34,951,116

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	597,951	482,607
短期借入金	110,270	109,339
未払法人税等	1,556,856	1,111,528
その他	863,920	1,133,082
流動負債合計	3,128,999	2,836,558
固定負債		
長期借入金	9,698	13,735
繰延税金負債	726	733
退職給付引当金	246,139	281,749
その他	140,978	140,979
固定負債合計	397,542	437,198
負債合計	3,526,541	3,273,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	34,459,302	32,265,317
自己株式	△2,252,917	△1,886,207
株主資本合計	34,237,881	32,410,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,501	45,718
為替換算調整勘定	△613,185	△863,020
評価・換算差額等合計	△564,684	△817,301
新株予約権	19,333	9,140
少数株主持分	102,501	74,914
純資産合計	33,795,031	31,677,359
負債純資産合計	37,321,573	34,951,116

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,062,722	11,272,877
売上原価	4,106,905	4,525,108
売上総利益	6,955,816	6,747,769
販売費及び一般管理費	2,890,930	3,039,651
営業利益	4,064,885	3,708,117
営業外収益		
受取利息	59,422	37,641
受取配当金	10,966	8,426
生命保険解約返戻金	13,050	1,757
為替差益	—	105,652
雑収入	18,113	29,346
営業外収益合計	101,553	182,824
営業外費用		
支払利息	1,145	1,096
為替差損	433,363	—
雑損失	8,765	9,733
営業外費用合計	443,273	10,829
経常利益	3,723,164	3,880,112
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,650
役員退職慰労引当金戻入額	176,000	—
貸倒引当金戻入額	209	3,077
生命保険解約差益	167,875	436,580
特別利益合計	344,084	445,307
特別損失		
固定資産除却損	—	3,780
投資有価証券評価損	1,860	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,230
特別損失合計	1,860	9,010
税金等調整前四半期純利益	4,065,389	4,316,409
法人税、住民税及び事業税	1,486,826	1,650,879
法人税等調整額	55,885	△37,424
法人税等合計	1,542,711	1,613,455
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,702,953
少数株主利益	24,354	24,218
四半期純利益	2,498,323	2,678,735

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,065,389	4,316,409
減価償却費	271,418	327,951
のれん償却額	18,988	18,623
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,007	7,158
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△21,047	△35,610
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△316,800	—
受取利息及び受取配当金	△70,389	△46,068
支払利息	1,145	1,096
保険解約損益(△は益)	△180,925	△438,337
固定資産除却損	—	3,780
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,650
投資有価証券評価損益(△は益)	1,860	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,230
売上債権の増減額(△は増加)	△516,140	△24,856
たな卸資産の増減額(△は増加)	△375,676	1,036
仕入債務の増減額(△は減少)	364,373	31,029
為替差損益(△は益)	315,308	△55,960
その他	△205,172	△188,546
小計	3,355,340	3,917,287
利息及び配当金の受取額	65,389	49,774
利息の支払額	△1,223	△1,186
法人税等の支払額	△1,488,519	△1,212,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,930,987	2,753,372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	200,000	162,370
金銭の信託の取得による支出	—	△2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△429,264	△667,852
無形固定資産の取得による支出	△48,883	△52,035
投資有価証券の取得による支出	△390,000	—
投資有価証券の売却による収入	290,627	335,950
関係会社株式の取得による支出	△34,987	—
定期預金の預入による支出	△5,371,719	△6,300,000
定期預金の払戻による収入	5,700,000	6,613,237
保険積立金の積立による支出	△208,341	△7,061
保険積立金の解約による収入	365,068	855,048
その他	△17,924	△69,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	54,575	△1,629,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7,877	△4,932
自己株式の取得による支出	—	△366,710
配当金の支払額	△490,807	△484,182
少数株主への払戻による支出	△15,673	—
少数株主への配当金の支払額	△2,456	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△516,814	△855,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	△600,753	203,436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	867,995	471,544
現金及び現金同等物の期首残高	5,796,420	7,632,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,664,415	8,104,347

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	歯科製品 関連事業 (千円)	工業製品 関連事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,641,087	1,073,257	348,376	11,062,722	—	11,062,722
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,641,087	1,073,257	348,376	11,062,722	—	11,062,722
営業利益	4,764,008	340,507	96,113	5,200,629	(1,135,743)	4,064,885

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 歯科製品関連事業……治療用ハンドピース、技工用マイクロモーター&ハンドピース、外科用ハンドピース、部品その他
(2) 工業製品関連事業……手作業用グラインダー、機械装着用モーター&スピンドル、部品、商品(先端工具)
(3) その他事業……修理

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	日本 (千円)	北アメリカ (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,465,138	559,053	2,438,690	213,410	386,429	11,062,722	—	11,062,722
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,934,917	4,149	29,563	—	—	1,968,630	(1,968,630)	—
計	9,400,056	563,203	2,468,253	213,410	386,429	13,031,352	(1,968,630)	11,062,722
営業利益	3,304,591	112,313	563,301	8,116	85,341	4,073,663	(8,777)	4,064,885

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北アメリカ …… アメリカ

ヨーロッパ …… ドイツ、フランス、イギリス、スペイン

アジア …… 中国

その他 …… オーストラリア

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

	北アメリカ	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,114,057	1,699,703	3,159,352	1,899,427	8,872,541
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	11,062,722
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.1	15.4	28.5	17.2	80.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ …… アメリカ、カナダ

(2) アジア …… 中国、韓国、インド、香港、台湾

(3) ヨーロッパ …… ドイツ、フランス、イギリス、スペイン、イタリア、スイス、ポーランド

(4) その他の地域 …… オーストラリア、イラン、南アフリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類、販売市場等の類似性を基に「歯科製品関連事業」、「工業製品関連事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品

報告セグメント	主要製品
歯科製品関連事業	治療用ハンドピース、技工用マイクロモーター&ハンドピース、口腔外科用ハンドピース、医療用マイクロモーター&ハンドピース、部品その他
工業製品関連事業	手作業用グラインダー、機械装着用モーター&スピンドル、部品、商品(先端工具)
その他事業	修理

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,629,722	1,299,247	343,906	11,272,877	—	11,272,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,629,722	1,299,247	343,906	11,272,877	—	11,272,877
セグメント利益	4,432,637	411,451	106,895	4,950,984	△1,242,866	3,708,117

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(追加情報)

第1 四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。